

たやうな氣がしてならない。九つの時は祖父が戦死し、母は五十九の時死ぬし、母が死んでからは子等に母を呼ばしたい者の無きまゝに隱居に獨居ヒトリヰの寂しい生活をつゞけて、九年目の六十九の九月に、此の世に「いさま(げ)」をしてまつたのである。不思議に兄夫婦の年の合計も六十九である。斯うしてまゝめて見るに、あれやこれや疑問や不充分さが今更のやうに目立つて、世に出すなき甚だをこがましい次第である。しかも、敢えてまゝめたには、最初は我々子等に物質的にこれと言ふものを残し得なかつた父の唯一の遺産としたい極く感傷的な「子心」からであつたが、出來得れば郷里の多くの人に讀んで貰つて、今後恥しくないものを世に送り得るための資料を提供して貰ひたいとの欲望に壓おさされて、柳田先生に御指導のお言葉をお願いしたのであります。この上は先生の仰せの如く、一日も早く私のこの經驗を利用して下されば幸甚の至りであります。加之新しい教育を受けた者が、たゞひ無學ではあつても、過もなく世渡りをして來て、黙々として暮らす老人との接觸を密にして、過去の生活の歴史を聞き直したら、教へらるゝ事柄の多いことを信ずる。

鹿兒島市上荒田町の寓居に於て

南京陥落して祖國の文化を東亞に昂揚するの日を希ひつゝ

檜 木 範 行

# 索引





715  
436

日向馬關田の傳承索引

ア

赤不淨……………四五  
 愛宕講……………四六  
 アキホウ……………五六  
 アカヒ……………七七  
 アトヲミル……………七九  
 アサクサキ……………一〇六  
 アゼクサキ……………一〇六  
 アゲコ……………一三三  
 アサギ……………一三八

イ・キ

飯野越……………二〇  
 インキョ……………三三  
 イイヤ……………三三

ウ

伊勢講……………四二  
 岩屋觀音……………六〇  
 亥の子……………七〇  
 稻荷祭り……………七二  
 入り替り……………七三  
 イケホリ……………九〇  
 一年麥……………九六  
 キノコビユ……………一〇一  
 イリツ……………一〇一  
 猪の分配法……………一〇七  
 市……………一〇七  
 イ……………一四四  
 井戸……………一四〇

ウ

魚野越……………二〇

エ

ウンマヤ……………三四  
 ウンマヤンニハ……………三六  
 ウドシ……………三五  
 白起し……………五六  
 馬の年取り……………五八  
 打植祭……………五九  
 馬の子モレ……………六一  
 牛越……………六四  
 内祭り……………七一  
 白の目切り……………七九  
 ウツコンガエ……………一〇六  
 魚……………一〇六

エ

越中どん……………二八  
 エタテンケンジ……………三六

オ・ヲ



大塚	七
オモテ	三
オモテンニハ	三
送り正月	五
小田踊	三
オヤシツケ	七
オタイ	八
オヒキ(百日咳)	七
カ	
加久藤越	一〇
カマバシタ	六
カネ	六
神樂	六
カンタテ	三
カメゾコ	七
カケツケアゲ	八
カイマ	一〇
カシタニセ	一〇
鍛冶屋	一〇
カヤモエ	三
カテモノ	二
河童	一
風穴	一
キ・ギ	
ギリヅエ	九
義理はひ	九
キド	三
ギヨウシ	八
キカイモエ	三
兄弟成り	三
共同飲食	一
狐	一
ク・グ	
球磨越	九
熊嶺坂	一
グワンジャメン	一
黒不淨	一
元日どん	一
狗留孫社	一
観音様	一
車櫃	一
口を開く	一
クラガツマンダラ	一
クサキリバ	一
クシヤク	一
怪火怪音	一
ケ	
玄隠居	一
コ・ゴ	
ゴヂュイリ	一

715  
436

ゴヂュバナシ	八
コヤ	三
コザイン	三
コザ	三
コノミヤジャウ	三
コメシビツ	三
コマシ	三
ゴメョドンツケ	七
コドシ	五
五月節供	三
虚空藏	三
コゼババ	六
コゼウンボ	六
ゴゼムケ	八
米	一
米モエ	一
コビイメシ	一
ゴヂュハン	一
ゴ汁	一
小坊主	一
サ	
サンキョ	三
サエ	七
サ門	四
三十錢講	九
三月節供	六
三才馬乗り	六
竿竹	六
砂糖	一
三徳どん	一
シ・ジ	
シラス	七
十年のユツサ	一
シンデン	三
四方矢がかりの田	二
シンボスル	七
十六門	四
白不淨	四
注連竹	四
シメキリ	五
シメタオシ	五
シバヌキ	五
正月どん	五
四月八日メイ	六
シロサア	六
シロ送り	六
シロバア	六
精進落シ	六
十五夜	六
十五夜綱曳	六
シヨノンゴ	七
シユノユエ	七
シラセ	七
庄屋	七



715  
436

ツマシ……………	三〇
ツマイホゼ……………	四〇
ツルトボシ……………	六〇
ツル……………	七六
ツナギ魚……………	八二
綱渡し……………	八四
ツケ……………	八八
ツナカキ……………	一〇三
ツツデ……………	一三〇
躰田……………	一三九
<b>テ・デ</b>	
デツヂヨサー……………	三六
デエ……………	八〇
デクリン……………	一〇七
天狗……………	一三五
天火……………	一四八
<b>ナ</b>	
ナカエ……………	三三
ナンド……………	三五
ナカエンニハ……………	三五
ナラシ……………	三七
流れ物……………	一九
檜木川……………	二
間屋……………	一八
トツワラ……………	一〇四
トソコツ……………	九五
歳の晩……………	七三
取引……………	七三
峠石……………	五二
トコンマ……………	三四
トジュ……………	三三
<b>ト</b>	
ナグレ……………	三七
ナンカンセツ……………	五七
七所ズシ……………	五七
名付祝……………	六六
名替系……………	六六
仲立……………	七九
ナハネコ……………	一一
<b>ニ</b>	
人形石……………	五
ニギエ……………	五
二才入り……………	五八
人形スエ……………	六〇
二十三夜待……………	七二
二十六夜待……………	七二
二十九日……………	七三
ニセザツシヨ……………	八七
ニタウチ……………	一〇六
ニタマチ……………	一〇六

ズタ袋……………	九
スキ……………	一三
ズシ……………	二六
<b>セ・セ</b>	
セメント倉……………	三
センソサー……………	三
セツチン……………	六
ゼンモエ……………	一三
<b>ソ・ソ</b>	
ソノミチ……………	三
ソッサラシ……………	三
ソバヨメジヨ……………	八
ソツシバ……………	一〇
ソバ汁……………	一六
<b>タ・ダ</b>	
ソガバカ……………	一〇〇
檀ボウ……………	七
タネヲマク……………	九
タメハンギイ……………	二六
タレ……………	四
タケハシラカシ……………	五七
田作り……………	五七
田作りの祝……………	五八
太郎朔日……………	五九
タネオロシ……………	五九
七夕……………	六五
七夕牛……………	六五
七夕流し……………	六七
タンドフシン……………	一〇一
タンドヒワリ……………	一〇二
ダツキユ……………	一〇四
タツモントイ……………	一〇五
<b>チ・チ</b>	
チヨカ賣リ……………	二七
チヤザ……………	三五
チカラバシタ……………	三五
チユッドコイ……………	三〇
力飯……………	三六
重開き……………	三六
チザシコ……………	三三
茶の子……………	三七
地火……………	一四八
<b>ツ</b>	
ツイノマ……………	三



ニセ	一〇七
濡草鞋	八
又	
ハガタメ	五五
ハラメウチ	五八
二十日正月	五九
墓コシタヘ	六〇
花竹筒	六〇
初ジヨロ	六〇
八朔の節供	六六
八日彼岸	六九
初九日	七〇
ハラオビ	七五
ハバ	七六
ハラメウチ	七八
半世帯	九六
ハカリガエ	九五
早脚	三九
彼岸	五九
ヒヨリダメシ	五九
ヒ	
ヒゲノノ	七六
引結び	八〇
ヒイクサキイ	一〇五
ヒヤ汁	一九
フ	
藤坂	三
麓	二九
フンユス	三六
フツカアツネ	三六
フケジヨロ	三六
フキナガシ	一〇一
フツマイマツリ	一〇七
古着	二六
觸役	一六一
ホ	
ホゼ	四三・七〇
ホ・ホ	



ホイ	四七
本尊持	四七
ホダレヒキ	五七
ホダレヒキノ祝	五八
ボンガマ	六六
ホソオクリ	一四七
ホソクワンジン	一四七
ホソモレ	一四七
マ	
丸岡	五
マチ	三〇
マッポイ	三六
見知り祝	八
ミツラ	三六
蓑ホゼ	四八
ミコヤ	四九
ミオツカ	七五
ミガルなる	七五
ミデ	八〇
三日戻り	八七
三日供養	九二
ム	
ムカエツキ	七七
ムコマゲ	八八
ムラ下駄	一〇九
蓆打ち	一〇九
無屋敷	一六四
メ	
目倉越	一〇
メノモチ	五八
メサマシ	八九
メロ	一〇七
モ	
畚叩き岡	五
餅ホゼ	四八
モチ	五七
モチクワンジン	五八
モレゴ	七五
餅フミ	七七
モリ	九〇
ヤ	
ヤケニハンコイ	一七
ヤマイモ	二〇
屋敷山	三四
ヤラヒ	四五
八ツ繩	四六
矢開き	四九



山の口竹..... 六	山クヤシ..... 六	薬師祭..... 五	ヤシネゴ..... 七五・一六	山神講..... 七	ヤマト..... 一〇六	ヤマシ..... 一〇六	ユ	湯女..... 六	ユジドコイ..... 七	ユスイコンガエ..... 一六	ユ(ゆひ)..... 二四	ユワカシ..... 二九	ヨ	ヨコザ..... 三	ヨロコビ..... 七五	ヨアソビ..... 七六	嫁女オツドイ..... 七九	ヨイエダ..... 一三三	ヨイヨツヤマ..... 一三三	ヨナガレ..... 一六	四ツ乳..... 一五〇	練瓦山..... 三	レ	六部..... 三〇	六観音メイ..... 六三	ワ	ワタマシ..... 六	輪クマリ..... 六	ワセウエンユエ..... 一〇九	ワカレコ..... 一三三
-------------	-------------	------------	-----------------	------------	--------------	--------------	---	-----------	--------------	-----------------	---------------	--------------	---	------------	--------------	--------------	----------------	---------------	-----------------	--------------	--------------	------------	---	------------	---------------	---	-------------	-------------	------------------	---------------

向日馬關の傳承

不許複製

昭和十二年十二月二十五日印刷  
昭和十二年十二月三十日發行

【定價金七拾錢】

著者 檜 木 範 行  
 發行者 野 間 吉 夫  
 印刷者 鹿兒島市東千石町九三  
 鹿兒島市東千石町九三  
 鹿兒島印刷合資會社  
 電話九二四番

發行所 鹿兒島市東千石町五一金海堂内  
 鹿兒島民俗研究會





715  
436

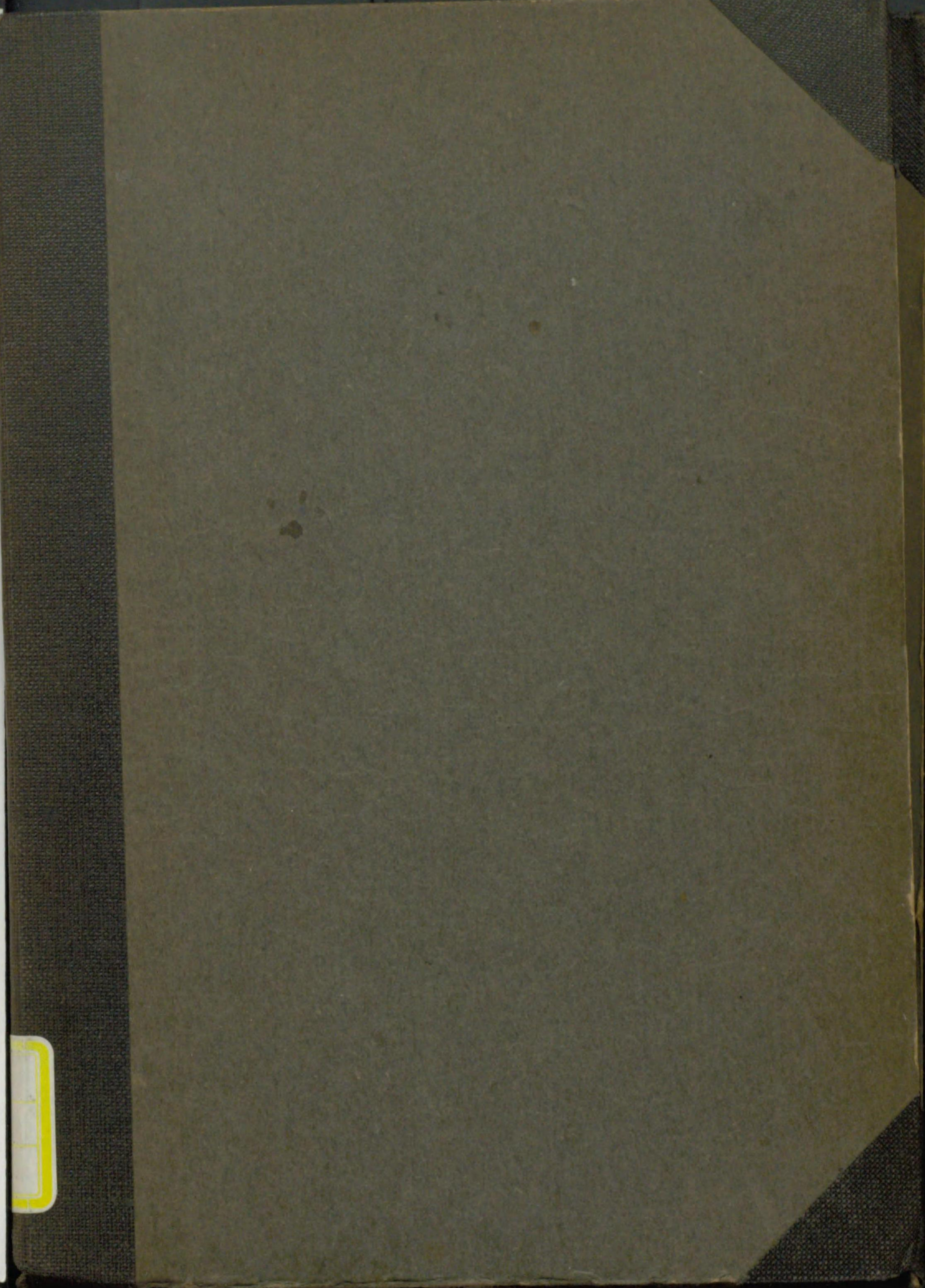
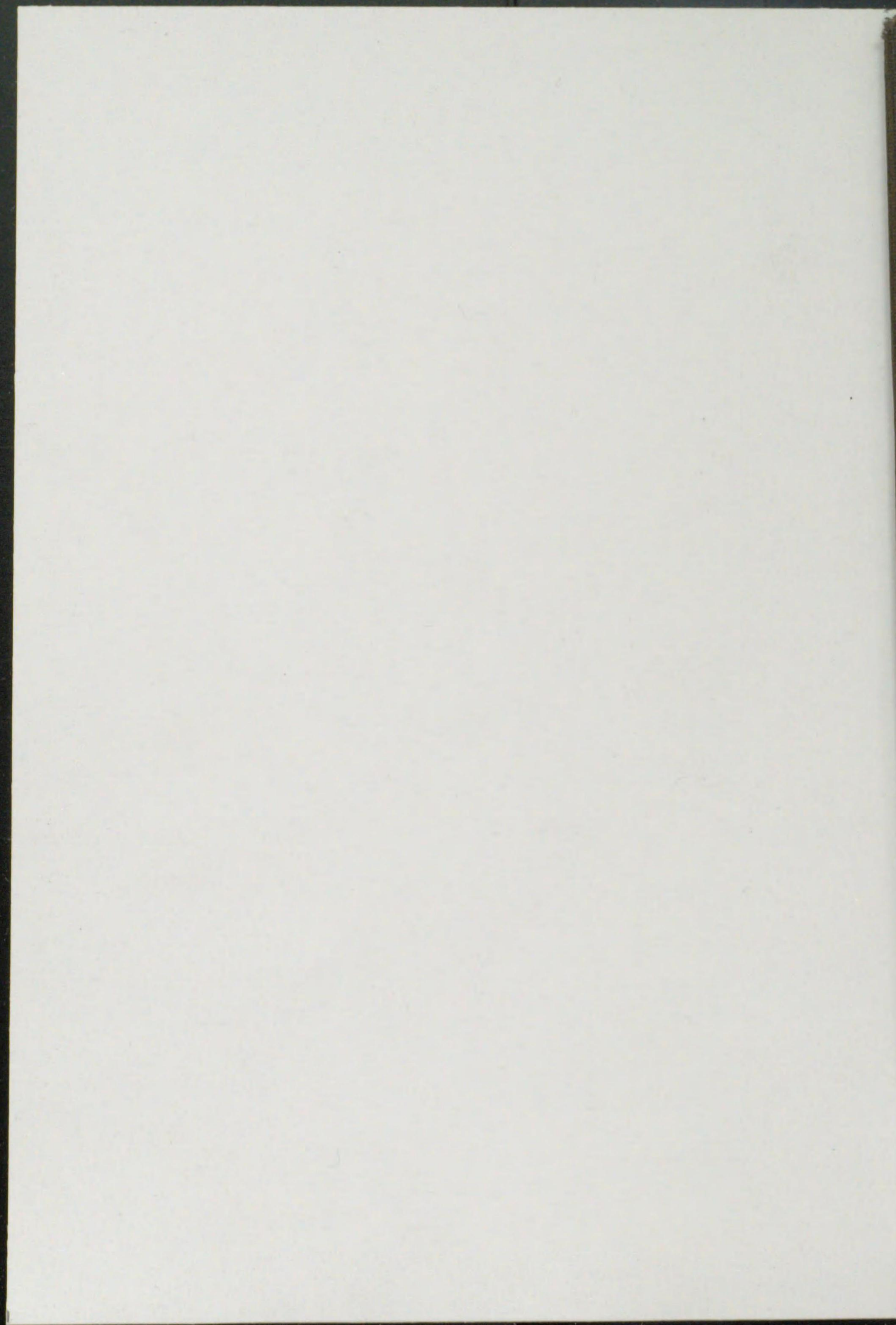
1850

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100



715  
436





A small, yellowish, rectangular label or sticker is attached to the spine area of the book cover, near the bottom edge. The label is partially obscured by the binding and appears to have some faint markings or text, but it is not legible.

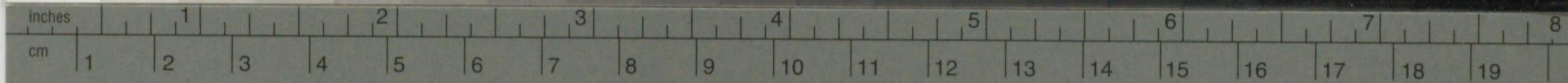


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

